

<p>第一課 一月六日 「あなたがたはこの世に倣(なら)つてはなりません。むしろ、心を新たに自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なものであるかをわきまえるようになりなさい」 ローマ 一二ノ二 新共同訳</p>	<p>第二課 一月三日 「茨の中に蒔かれたものとは、御言葉を聞くが、世の思い煩いや富の誘惑が御言葉を覆いふさいで、実らない人である」 マタイ 一三ノ一二 新共同訳</p>	<p>第三課 一月二〇日 「このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです」 フィリピ 二ノ九～一一 新共同訳</p>	<p>第四課 一月二七日 「怒りの日には、富は頼りにならない。慈善は死から救う。……富に依存する者は倒れる。神に従う人は木の葉のように茂る」 箴言 一一ノ四、二八 新共同訳</p>	<p>第五課 二月三日 「わたしたちは神に認められ、福音をゆだねられているからこそ、このように語っています。人に喜ばれるためではなく、わたしたちの心を吟味される神に喜んでいただくためです」 テサロニケ一 二ノ四 新共同訳</p>	<p>第六課 二月一〇日 「こういうわけですから、人はわたしたちをキリストに仕える者、神の秘められた計画をゆだねられた管理者と考えるべきです。この場合、管理者に要求されるのは忠実であることです」 コリント一 四ノ一、二 新共同訳</p>	<p>第七課 二月一七日 「良い土地に落ちたのは、立派な善い心で御言葉を聞き、よく守り、忍耐して実を結ぶ人たちである」 ルカ 八ノ一五 新共同訳</p>
<p>第八課 二月二四日 「あなたがたは知らないのですか。神殿で働く人たちは神殿から下がる物を食べ、祭壇に仕える人たちは祭壇の供え物の分け前にあずかります。同じように、主は、福音を宣べ伝える人たちには福音によって生活の資を得るようにと、指示されました」 コリント一 九ノ二三、一四 新共同訳</p>	<p>第九課 三月三日 「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」 ヨハネ 三ノ一六 新共同訳</p>	<p>第一〇課 三月一〇日 「神がわたしたちを招かれたのは、汚れた生き方ではなく、聖なる生活をさせるためです」 テサロニケ一 四ノ七 新共同訳</p>	<p>第一一課 三月一七日 「すべての人々に対して自分の義務を果たしなさい。貢を納めるべき人には貢を納め、税を納めるべき人には税を納め、恐るべき人は恐れ、敬うべき人は敬いなさい。互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがあつてはなりません。人を愛する者は、律法を全うしているのです」 ローマ 一三ノ七、八 新共同訳</p>	<p>第一二課 三月二四日 「どのようにして、若者は歩む道を清めるべきでしょうか。あなたの御言葉とおりに道を保つことです。心を尽くしてわたしはあなたを尋ね求めます。あなたの戒めから迷い出ることのないようにしてください。わたしは仰せを心に納めていきます／あなたがたに対して過ちを犯すことのないように」 詩編 一一九ノ九～一一 新共同訳</p>	<p>第一三課 三月三一日 「また、異教徒の間で立派に生活しなさい。そうすれば、彼らはあなたがたを悪人呼ばわりしてはいても、あなたがたの立派な行いをよく見て、訪れの日に神があがめるようになります」 ペトロ一 二ノ一二 新共同訳</p>	